

野岸小だより

小諸市立野岸小学校NO. 9
令和5年12月1日 発行
校長 丸山 穰

浅間山も何度か白くなって、雪が積もるのももうすぐかなと思っています。学校では、焼きいも大会を実施し、収穫の喜びとこの季節ならではのおいしさを堪能しました。長かった2学期ももうすぐ終わります。学期のまとめにも入っています。



PTA作業 11/11

1年生の保護者の方を中心にして、PTA作業をしていただきました。トイレ清掃などの屋内作業や腐葉土を畑にまくなどの屋外作業と全般にわたって実施していただきました。コミュニティースクールの方々も参加していただき、協力していただきました。お忙しい中、大勢の方にご参加いただき、職員や子どもたちだけではとてもできないような作業をしていただき、ありがとうございました。子どもたちの教育環境を整えていただいた「縁の下の力持ち」に感謝です。



小諸市サッカー大会優勝11/3

小諸市主催のサッカー大会が開かれ、野岸小学校が15年ぶりに優勝しました。チームを作った子どもたちは、毎朝練習を重ね、激戦を制して優勝しました。まさに、小諸市の「梅花教育」を形にしたような活躍でした。結果だけではなく、その過程も大切にするという気持ちは、いろいろな場面で活かされると思っています。



なかよし週間 11/27~12/1

相手の気持ちを大切に行動できる子どもを目指して、今年は、春と秋に人権週間をもうけて、取り組みのきっかけにしています。人権学習の一環として、標語を考えたり、道徳に関連した題材を扱ったりしました。その他、人権講演会や校長講話で、以下の内容を扱いました。

- 人権講演会…病気により、右半身に障害を負った清水英紀さんのお話を、社会福祉協議会の方をサポートとしてトークセッションという形でお聞きしました。元気に楽しくお話をされた内容から、困難や課題に立ち向かうときの心境やどんなことに気をつけたか、どんなサポートがうれしかったかなどをお聞きすることができました。子どもたちが困難や課題に向き合ったとき、どんなふうに考えたらよいか、困難や課題に立ち向かっている人にどんなサポートをしたらよいか、これからの生活の中で活かしていってくれるのではないかと考えています。
- 校長講話 …「ちがい」について話をしました。毎日している学習の中では、「ちがい」を見つけて、成長につなげたり、生活の中で応用したりしています。しかし、友だち関係の中で、「ちがい」を見つけて自信をなくしたり、拒否したりしてしまうことがあります。「ここは苦手だけど、得意なことはこれだ」「苦手を克服しているから何か手助けできないかな」「あの人は、こんなすごいところがあるんだよ」など、「ちがい」をプラスの方向に考える方法を見つけていこうという話をしました。教師を含め、私たち大人も大切にしたい観点です。子どもたちと一緒に意識していきたいと思えます。